

<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に防災訓練を実施し、防災設備、避難経路、避難手順等の周知徹底を図る。 ・消防設備の定期点検を実施する。 	<p>専門業者による消防設備点検を5月と11月に行った。</p>
<p>④事故、感染症等の防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故防止委員会を定期開催し、ヒヤリハット及び事故報告書を分析し事故防止体制を強化する。 ・感染防止委員会を定期開催するとともに、感染症について研修を行い、職員の知識を高めるとともに、感染症流行期には臨時の感染防止委員会を開催し予防及び蔓延防止の対応策を講じる。 	<p>④事故防止と感染症防止について、園内研修を実施した。</p> <p>事故防止委員会において、各フロアより事故報告を行い、対策等について検討を行った。</p> <p>感染防止委員会において、周辺地域の感染症発生情報等を共有し、職員に対し注意喚起を行い、手洗い・うがいの徹底、手指用消毒液を使用し感染症防止体制を充実させた。</p> <p>流行期には、面会時の生食の持込み制限や面会制限など予防に努めたが、例年を上回るインフルエンザB型の流行状況により、1月29日より面会を中止し、その後、園内や周辺状況を医師の助言をもとに慎重に判断し、3月15日より面会場所をエレベーターホールとするなどの制限措置を行い、4月7日より面会制限を全面的に解除した。</p>
<p>⑤虐待の防止及び早期発見・拘束ゼロの徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尊厳保持・虐待防止・身体拘束防止委員会を定期開催し、身体拘束ゼロ、虐待ゼロを継続するため、外部研修への参加や園内研修を実施する。 	<p>⑤尊厳保持・虐待防止・身体拘束防止委員会を年4回開催した。</p> <p>ユニット毎に3ヶ月目標を設定し、尊厳保持・虐待防止・身体拘束防止の取り組みを行い、八王子市主催の高齢者虐待防止に関する研修に3名の職員が参加した。</p>
<p>⑥建物、設備の維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全衛生委員会において、設備等の不具合について適宜確認し、必要に応じて改善を行うとともに定期的に建物・設備の点検を実施する。 	<p>⑥衛生管理者を議長とし、月1回安全衛生委員会を開き、設備不具合や職場内環境等、安全衛生面の確認、検討を行った。</p>
<p>(2) 社会・利用者ニーズへの的確な対応</p>	
<p>①個別サービス計画について、組織的な見直しを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設サービス計画に基づき、個別の24シートを作成し、利用者及び家族等の要望にあったサービス提供を行う。 ・提供しているサービスの評価を定期的に行い、サービスの質向上に努める。 	<p>①ケアプラン方針会議を開催し個別サービス計画を組織的に見直しを行った。</p> <p>個別の計画書を作成し、家族等の同意のうえサービス提供を実施した。</p> <p>サービス計画を評価し、ケアプラン会議において、ご家族等の意向等を確認し、関係職員がサービス内容について検討することで、サービスの質の向上に繋げた。</p>
<p>②利用者・家族等の意見、要望の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者及び家族等に、ケアプラン会議へ出席していただき、利用者及び家族等の要望を把握する。 ・利用者が園長に、直接意見が出来る機会を設ける。 ・定期的な懇談会の開催により、利用者及び家族等と園との緊密な意見交換を図る。 ・第三者評価受審時の利用者アンケート調査をもとに、意見や要望の把握に努める。 	<p>②家族等に出来る限りケアプラン会議に出席していただき、利用者及び家族等の意向を反映したサービス計画を作成する事で、施設サービスについて、理解をしていただくことが出来た。</p> <p>園長が、毎日各フロアを巡回し、利用者が直接意見を言える機会を設けた。</p> <p>お花見会・敬老会、開園記念日等の開催に合わせ家族懇談会を2回開催し、家族等の意向を直接聞き取る機会を設けた。</p> <p>12月の第三者評価受審時に、利用者及び家族にサービスに対する調査を実施し意見要望の把握に努めた。</p>
<p>③サービス計画に基づくサービスの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別の24シートに基づき食事、入浴、排泄等のケアを実施する。 ・個別の機能訓練計画を作成し、日常生活動作の維持改善を図る。 ・選択食や季節感を取り入れた行事食等、きめ細かな食事サービスを実施する。 	<p>③個別の24シートに基づき、利用者ごとの生活時間帯を職員が把握し、食事、入浴、排泄等のケアを実施した。</p> <p>機能訓練指導員がユニット職員と連携し、個別に利用者の日常生活動作の改善について機能訓練計画を立てて維持改善に努めた。</p> <p>季節ごとの献立をするなど食事サービスの充実を図った。</p>

<p>④各種行事等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間計画に基づき、お花見会、敬老会、夏祭り等の全体行事を実施する。 ・利用者の要望をもとに、職員が計画立案するユニット活動やフロア合同での交流行事を実施する。 ・書道、カラオケ、手工芸、風船バレー、俳句、将棋、囲碁クラブ等のクラブ活動を各部署協力して実施する。 	<p>④お花見会、敬老会、夏祭りの法人行事に加え、誕生会や外出活動をユニット毎に実施したり、クリスマス忘年会や運動会などフロア合同で準備開催し、利用者及び家族等に喜んでいただけました。</p> <p>書道、カラオケ、手工芸、風船バレー、俳句、将棋クラブ等を、ボランティアの協力を得たり、各部署で担当しながら実施し、毎回ご利用者に楽しんでいただけた。</p>
--	--

<p>(3) 事業の安定的・効率的な運営</p>	
<p>①経営感覚の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例会にて毎月の収支を明らかにし、目標に対する進捗状況や経営状態を各職員が理解・把握する。 ・省エネ・節電等により、経費の節約に努める。 	<p>①定例会や幹部会で、毎月の収支報告を行い、各部署の担当者が、収支の状況を理解する事が出来た。</p> <p>水道及びガスの使用量節減のため節水装置を取り付け、経費の節約に努めた。</p>
<p>②業務の簡素化・効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各部署で業務の効率化を積極的に検討し取り入れていく。 ・利用者管理システムや施設内LANを活用する事により、業務の効率化と簡素化を図る。 ・利用者の介護状態に応じた介護用クッション及びリクライニング・ティルト型車イス導入の拡充、また腰装着型介護ロボットの活用により、利用者の重度化対応及び介護職員の負担軽減を図る。 	<p>②業務委員会において、マニュアルの更新を行い、業務内容の見直しを行った。</p> <p>利用者管理システムや施設内ネットワークでの共有文書等の運用など効率化を図った。</p> <p>腰装着型介護ロボットの園内研修を行い、使用可能な職員を増やし、カレンダーで使用予定を管理するよう整備した。</p>
<p>③入居を計画的に安全に進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の入居前の状況を確認し、施設サービスがどのように提供されるかを説明し、利用者及び家族等が安心して入居出来るようにする。 ・空床が発生した場合の、新規入所及び入院時のベッド利用を円滑に行う。 ・在宅介護が困難となった、介護度の高い方の入居を優先に行う。 	<p>③入所前に生活相談員から、重要事項説明書をもとに丁寧な説明を行う事により、利用者及び家族等の不安が解消された。</p> <p>空床が発生次第、待機者と連絡を取り、入所日について相談すると同時に、入所日までの期間は短期利用者を積極的に受け入れた。重度者の方を積極的に受け入れた。</p>
<p>(4) 職員の知識・技術の向上と職場の活性化</p>	
<p>①知識・技術の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設内において定期的な研修を実施する。 ・施設外研修に積極的に参加し、その成果を活用する。 ・青陽園と合同の外部講師研修を多くの職員が履修できるよう促進する。 ・アクティブ福祉イン東京への発表に向け研究を行う。 ・マニュアル等の見直しなど業務改善を行う。 ・資格要件加算等に必要な各種資格を取得する際の支援体制の充実を図る。 	<p>①内部、外部研修を計画的に受講させた。年間の研修計画を作成し、月2回の施設内研修を実施した。</p> <p>アクティブ福祉イン東京 2017 において研究発表を行った。</p> <p>業務委員会でマニュアル等の見直しや部署間連携の業務改善に取り組んだ。</p> <p>各種資格取得に向けた支援を行い、介護福祉士国家試験に2名、社会福祉士1名、介護支援専門員1名が合格した。</p>
<p>②職員の確保・定着</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己申告書を活用したキャリアパスの構築を行い、職員の確保・定着を図ることを目的に職員一人ひとりが「やる気と誇り」を持って働くことが出来る職場づくりに努 	<p>②ユニットケア推進委員会の取組みの中で、ユニットケア勉強会や市内ユニット型施設への見学・交流会を実施し、職員の業務に対する充実・達成感を醸成した。</p> <p>青陽園と共同で、専門学校就職ガイダンスに</p>

<p>める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青陽園、からまつ保育園と協力し、福祉専門学校や高等学校との連携強化を図る。また新卒者向け採用説明会等の開催を行い、人材確保を図る。 ・青陽園とともに人材育成を主眼とした教育研修を実施する。 	<p>参加し、また専門学校の要請に応じ見学説明会を実施した。アクティブ福祉 in 町田の学生発表のための介護ロボットの調査に協力した。福祉専門学校や高等学校への職員採用情報提供を行った。</p>
<p>③法人内施設との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護職員初任者研修に講師を派遣する。 ・行事や研修等においては、青陽園を始め各施設と積極的に交流を行い、情報の共有による一体感を醸成する。 	<p>③コア人材研修のグループワークでは第二青陽園、青陽園合同で意見交換やディスカッションを行い、情報の共有や一体感の醸成ができた。</p>
<p>(5) 地域、後援会との連携</p>	
<p>①地域等連携事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青陽園及び地域包括支援センター川口と共催し「認知症カフェ・さくら」を引き続き実施し、地域住民の語り場となるよう実施する。 ・「介護予防健康体操教室」は今年度より青陽園及び第二青陽園の共催となり、より一層の地域の介護予防に取り組む。 ・園の全体行事、法人主催の夏祭り・防災訓練・チャリティバザー等をとおして地域、後援会との交流を図る。 ・ホームページの更新と広報誌の定期発行を行い、広く情報提供を行う。 ・五町会との懇談会に参加し、園の情報提供及び地域の情報収集に努める。 	<p>①月1回開催の「カフェさくら」の奇数月を第二青陽園が担当し地域の方との交流を図った。「介護予防体操教室」の29年度前期を担当し機能訓練指導員を講師として全10回を開催した。</p> <p>後援会と地域住民の方の協力を得て、また法人内の事業所と連携し、夏祭りチャリティバザー、合同防災訓練等を開催した。</p> <p>広報委員会において、広報誌の作成を行い、敬老会では、日常生活の様子や季節ごとの行事等を映像化し、家族等に見ていただき好評を得た。</p> <p>園長が近隣町会との懇談会に参加し、地域の情報や要望等情報収集に努めた。</p>
<p>②ボランティアの積極的な受入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの持つ知識や技術を、利用者の生活やクラブ活動に活用する。 	<p>②クラブ活動のほか法人夏祭り、敬老会にもボランティアの方に応援に来てもらい、行事に協力してもらった。年間で10グループ19名のボランティアの皆さんに活動していただいた。</p>
<p>③高齢者関係機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京都、八王子市との情報交換等を積極的に行う。 ・東京都社会福祉協議会、八王子市社会福祉協議会等との連携を図る。 ・定期的に八王子施設長会に参加し、他施設との情報交換を行う。 ・地域の医療機関との勉強会や情報交換を行う。 	<p>③東京都社会福祉協議会主催の研修や情報交換会に参加した。</p> <p>八王子施設長会に参加し、他施設との情報交換や交流を行った。</p> <p>アクティブ福祉 in 東京の発表に向け市内他施設と合同のプレ発表会に参加し他園の発表を見て意見交換し、職員交流を図る機会を得た。</p>